

## 編集後記

まず、本年第1号となる本号の発行が遅れ、1・2合併号となりましたこと、編集委員会から会員の皆様に心よりお詫び申し上げます。その上で、新たな「日本小児循環器学会雑誌・電子版」の船出を、皆様と一緒に祝福させていただきたく存じます。私が編集委員に就任させていただきました一昨年からは、白石公新委員長の強力なリーダーシップの下、それまでの素晴らしい伝統を継承しながら、まず投稿数をさらに増やすこと、査読に Associate Editor 制を導入して国際水準を意識した雑誌にすること、教育的な総説と若手の育成を重視した原著のバランスを考えた雑誌とすること、など様々な新しい取り組みをしてまいりました。そして、この度、編集室および出版社を「協和企画」から「国際文献社」に移管し、遂に電子化に成功致しました。電子版第1号出版にあたり、編集委員長、学会理事長をはじめとする関係諸氏の本当に献身的なご努力、会員の皆様方のご協力を振り返りますと、編集委員の一人として感無量です。完成した電子版のデモを編集委員会で拝見した時、その美しさ、使いやすさに驚嘆し、学会の新たな時代を予感させる、本当に素晴らしいものと感激しました。これまで紙面だけでは実現できなかった、動画コンテンツや双方向性の内容など、将来的な発展性にも期待が高まります。今後、更なる国際化も視野に、会員の皆様からのアイデアを広くうかがい、学会雑誌・電子版を進化させていくことを楽しみにしています。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(山岸敬幸)